

# 「音更町の将来人口推計に関する資料」

《総合計画に関する参考資料》

音 更 町

令和2年1月作成

## ●音更町の将来人口推計について

### 1 人口推計における考え方

人口推計は、国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）の2018年推計値を基礎データとし、これを基準として独自推計を行う。

### 2 人口推計の方法及び比較

独自推計は3パターン行い、2018社人研推計と合わせて次の4パターンで比較する。

#### (1) 2018社人研推計（基礎データ）

・合計特殊出生率：2060年まで1.52、社会増（転入超過）

#### (2) (1)の出生率を引き上げる

・合計特殊出生率：2060年で2.07

(注) 2.07は人口置換水準で、2060年時点の国・北海道の推計値に準拠し、現在の1.52から均等に上昇させたものである。この水準を維持すると人口は長期的に増えも減りもせず一定となる。

#### (3) (1)の出生率を引き上げるとともに社会増減をゼロにする

・合計特殊出生率：2060年で2.07、社会増減ゼロ

#### (4) (1)の社会増減をゼロにする

・合計特殊出生率：2060年まで1.52、社会増減ゼロ

### ※ 人口推計の方法における社会増減をゼロにする考え方について

2018社人研推計（基礎データ）における社会増減は、全期間で社会増（転入超過）と推計されている。一方、本町の住民基本台帳における社会増減の実績は2012年以降ほぼ毎年社会減（転出超過）であり、社人研の推計は、この間の実績と大きく乖離している。このことから、社会減をくい止めることにより人口増を図る観点から、社会増減をゼロにするものである。

### 3 パターンごとの推計人口（社人研推計との比較）

パターン	2030年	2060年
	第6期総合計画最終年	人口ビジョン最終年
(1)	42,279人	31,788人
(2)	42,527人 (248人・0.6%増)	33,801人 (2,013人・6.3%増)
(3)	42,066人 (213人・0.5%減)	31,219人 (569人・1.8%減)
(4)	41,824人 (455人・1.1%減)	29,201人 (2,587人・8.1%減)

### 4 国、北海道及び近隣の自治体における人口推計の考え方

7ページ参照

### 5 採用する人口推計（案）

2012年以降、本町は社会減が続いており、社人研推計値をそのまま採用することは困難であるため、現状に即した形で少しでも人口減少をくい止めていく観点から、(3)の社人研推計の出生率を引き上げるとともに社会増減数を均衡させる推計方法を採用案としたい。これにより、第2期総合戦略人口ビジョン最終年次（2060年）の人口は31,219人に、また、この過程にある第6期総合計画最終年次（2030年）の人口は、42,066人となるものである。

表1 音更町の将来人口推計

①2018社人研推計(人口推計の基礎データ)

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
合計特殊出生率	1.52	1.515	1.500	1.505	1.512	1.516	1.518	1.518	1.518	1.518
自然増減数		-563	-1,031	-1,368	-1,635	-1,929	-2,089	-2,181	-2,337	-2,450
社会増減数		82	133	219	337	468	353	332	322	317
総人口	44,807	44,326	43,428	42,279	40,981	39,521	37,785	35,936	33,921	31,788
年齢階級別人口割合	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
0～14歳	14.8%	13.4%	12.2%	11.5%	10.9%	10.6%	10.4%	10.2%	9.9%	9.7%
15～64歳	58.6%	56.7%	55.7%	53.8%	51.8%	48.5%	46.2%	45.2%	45.1%	45.0%
65～74歳	13.2%	14.1%	12.9%	13.0%	14.2%	16.0%	16.7%	14.9%	13.1%	12.7%
75歳以上	13.3%	15.7%	19.2%	21.7%	23.1%	24.9%	26.6%	29.8%	31.9%	32.6%
総人口	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

②出生率引上げ<2060年:2.07>

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
合計特殊出生率	1.52	1.520	1.589	1.658	1.726	1.795	1.864	1.933	2.001	2.070
自然増減数		-556	-939	-1,222	-1,442	-1,682	-1,793	-1,836	-1,944	-2,004
社会増減数		82	133	222	343	461	323	297	281	270
総人口	44,807	44,333	43,527	42,527	41,429	40,207	38,737	37,198	35,535	33,801
年齢階級別人口割合	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
0～14歳	14.8%	13.4%	12.4%	12.1%	11.9%	11.9%	12.1%	12.3%	12.4%	12.7%
15～64歳	58.6%	56.7%	55.6%	53.4%	51.3%	47.9%	45.6%	44.6%	44.6%	44.7%
65～74歳	13.2%	14.1%	12.9%	12.9%	14.0%	15.7%	16.3%	14.3%	12.5%	12.0%
75歳以上	13.3%	15.7%	19.1%	21.5%	22.8%	24.5%	26.0%	28.8%	30.5%	30.6%
総人口	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

③出生率引上げ<2060年:2.07>(社会増減0)

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
合計特殊出生率	1.52	1.520	1.589	1.658	1.726	1.795	1.864	1.933	2.001	2.070
自然増減数		-561	-946	-1,235	-1,462	-1,704	-1,801	-1,858	-1,978	-2,044
社会増減数		0	0	0	0	0	0	0	0	0
総人口	44,807	44,246	43,301	42,066	40,604	38,900	37,099	35,241	33,263	31,219
年齢階級別人口割合	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
0～14歳	14.8%	13.5%	12.4%	12.1%	11.9%	11.9%	12.0%	12.1%	12.2%	12.4%
15～64歳	58.6%	56.7%	55.5%	53.3%	51.0%	47.3%	44.7%	43.4%	43.1%	42.8%
65～74歳	13.2%	14.1%	12.9%	13.0%	14.2%	16.0%	16.8%	14.9%	13.0%	12.6%
75歳以上	13.3%	15.8%	19.2%	21.6%	23.0%	24.8%	26.5%	29.7%	31.7%	32.2%
総人口	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

④2018社人研推計(社会増減0)

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
合計特殊出生率	1.52	1.515	1.500	1.505	1.512	1.516	1.518	1.518	1.518	1.518
自然増減数		-567	-1,038	-1,378	-1,649	-1,940	-2,080	-2,178	-2,335	-2,442
社会増減数		0	0	0	0	0	0	0	0	0
総人口	44,807	44,240	43,203	41,824	40,175	38,235	36,155	33,977	31,643	29,201
年齢階級別人口割合	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
0～14歳	14.8%	13.4%	12.2%	11.6%	10.9%	10.6%	10.3%	10.0%	9.7%	9.4%
15～64歳	58.6%	56.7%	55.7%	53.6%	51.5%	47.9%	45.3%	43.9%	43.4%	42.9%
65～74歳	13.2%	14.1%	12.9%	13.1%	14.3%	16.3%	17.2%	15.4%	13.6%	13.4%
75歳以上	13.3%	15.8%	19.2%	21.8%	23.2%	25.2%	27.2%	30.7%	33.2%	34.3%
総人口	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※年齢階級別人口割合の灰色セルは、割合の転換年(ただし、2060年はそれ以降(2065年以降)の可能性もある)

図2 音更町の将来人口推計

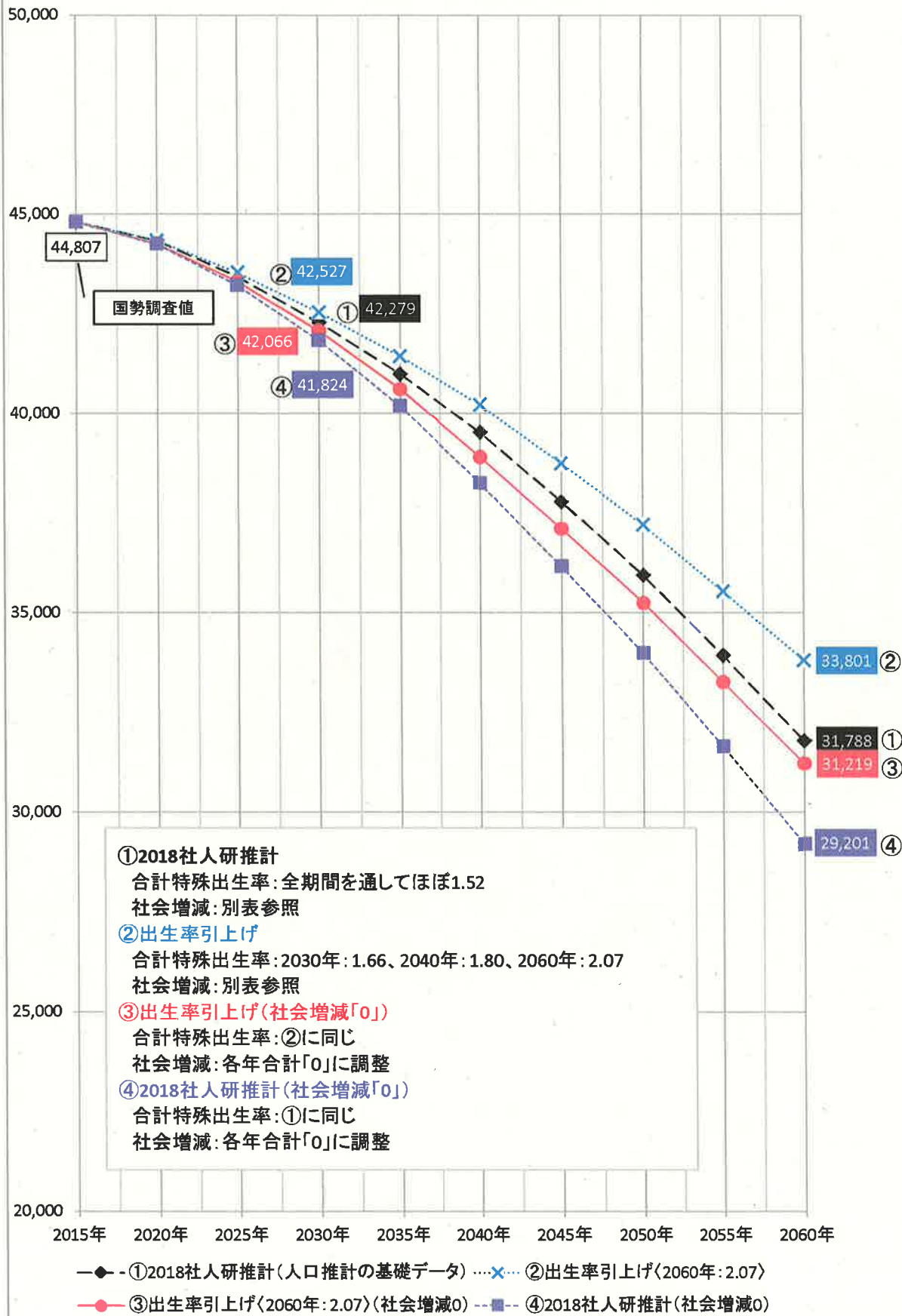


図3-1 音更町の出生数と死亡数の推移(自然増減)

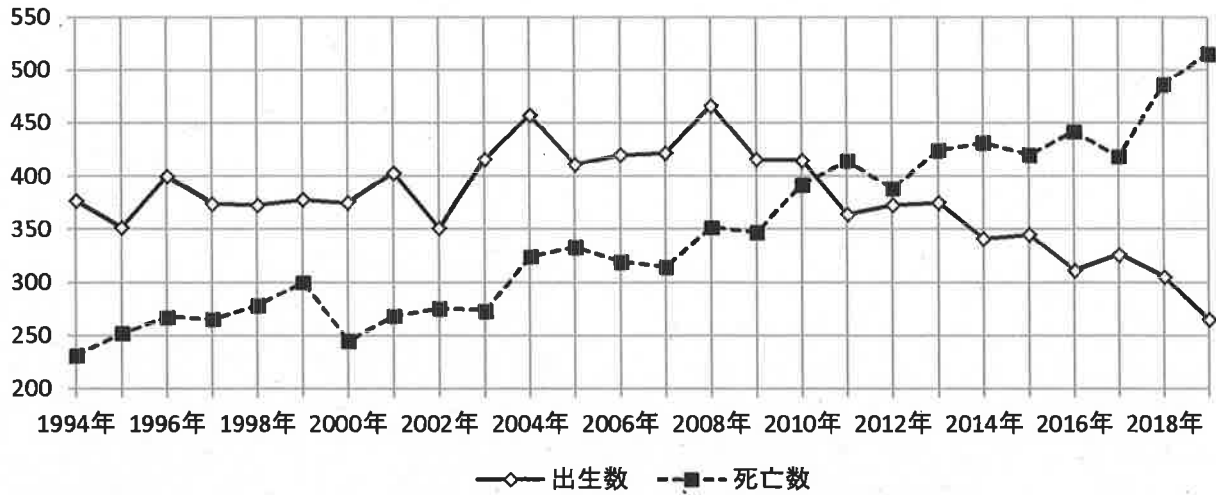


図3-2 音更町の転入数と転出数の推移(社会増減)

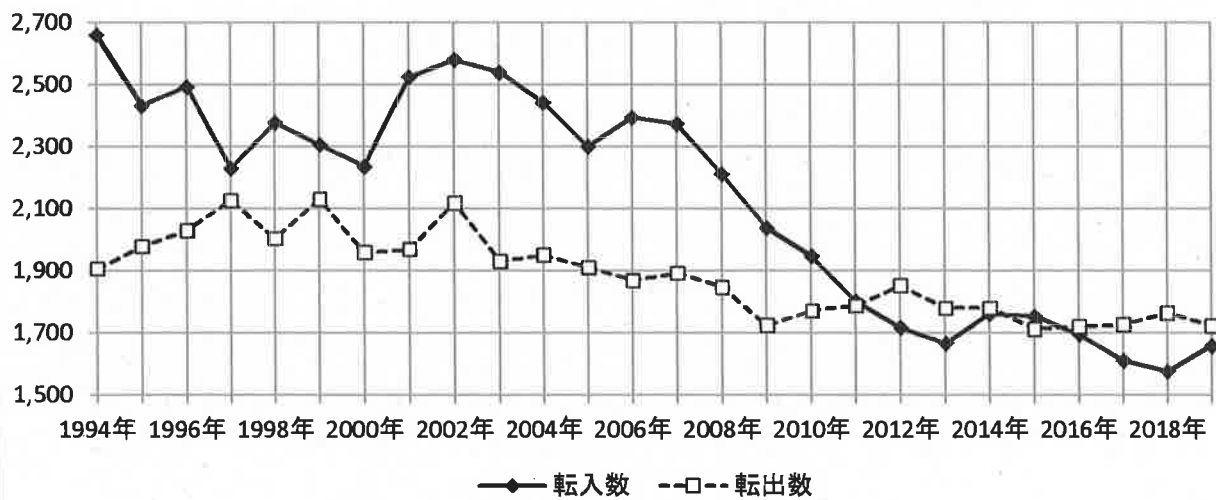
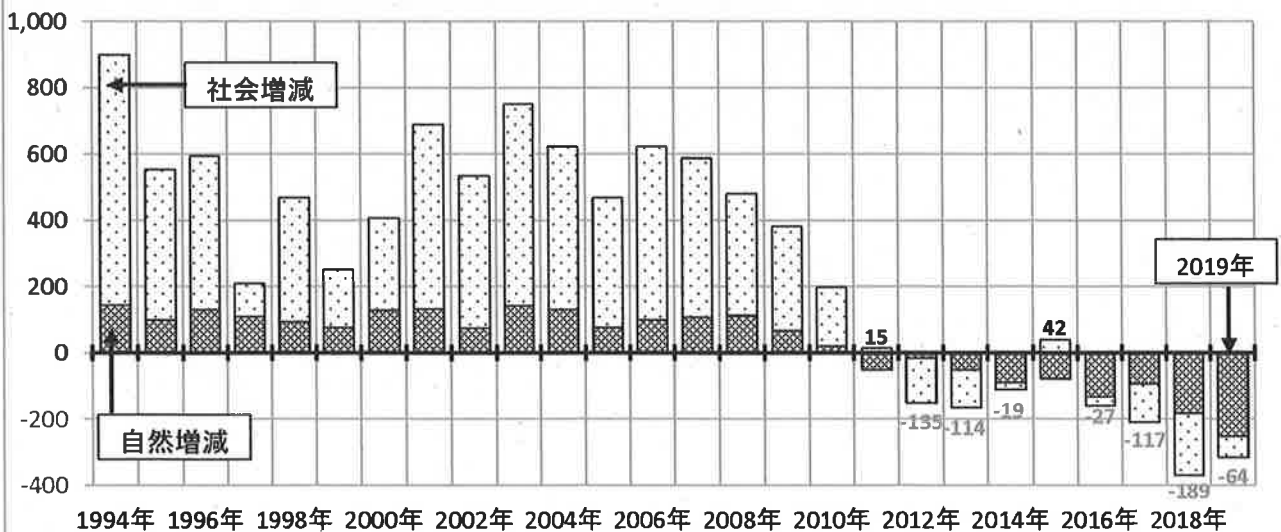


図3-3 音更町の人口動態(自然増減・社会増減)の推移



※住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査(総務省自治行政局)  
 ※2012(H24)年までは、4月1日から翌年3月31日、2013年(H15)年以降は1月31日から12月31日。  
 ※2012(H24)年からは外国人を含む。

表3-4 音更町の地域別転入・転出状況(2016年と2017年の合計)

転入元・転出先	転入者の移動前の住所地				転出者の移動後の住所地				差し引き (転入-転出) (2年合計)
	人 数			構成比 (2年合計)	人 数			構成比 (2年合計)	
	2016	2017	合計		2016	2017	合計		
十勝総合振興局内									
帯広市	551	487	1,038	33.0	473	513	986	30.0	52
士幌町	40	36	76	2.4	23	16	39	1.2	37
上士幌町	22	30	52	1.7	31	30	61	1.9	▲ 9
鹿追町	31	27	58	1.8	20	6	26	0.8	32
新得町	11	8	19	0.6	7	7	14	0.4	5
清水町	11	19	30	1.0	16	9	25	0.8	5
芽室町	39	24	63	2.0	48	19	67	2.0	▲ 4
中札内村	14	14	28	0.9	7	8	15	0.5	13
更別村	1	9	10	0.3	5	5	10	0.3	0
大樹町	6	11	17	0.5	5	3	8	0.2	9
広尾町	6	11	17	0.5	11	5	16	0.5	1
幕別町	54	74	128	4.1	69	50	119	3.6	9
池田町	25	9	34	1.1	5	10	15	0.5	19
豊頃町	11	7	18	0.6	6	10	16	0.5	2
本別町	15	24	39	1.2	11	19	30	0.9	9
足寄町	19	4	23	0.7	10	25	35	1.1	▲ 12
陸別町	1	8	9	0.3	4	0	4	0.1	5
浦幌町	8	22	30	1.0	10	8	18	0.5	12
〈小計〉	865	824	1,689	53.7	761	743	1,504	45.8	185
その他道内									
札幌市	173	180	353	11.2	299	290	589	17.9	▲ 236
旭川市	44	22	66	2.1	45	45	90	2.7	▲ 24
釧路市	56	57	113	3.6	48	40	88	2.7	25
北見市	33	26	59	1.9	15	15	30	0.9	29
苫小牧市	7	22	29	0.9	25	16	41	1.2	▲ 12
千歳市	12	11	23	0.7	21	14	35	1.1	▲ 12
その他	226	197	423	13.4	177	188	365	11.1	58
〈小計〉	551	515	1,066	33.9	630	608	1,238	37.7	▲ 172
〈道内合計〉	1,416	1,339	2,755	87.6	1,391	1,351	2,742	83.5	13
道外									
東京圏	93	82	175	5.6	130	146	276	8.4	▲ 101
その他道外	108	107	215	6.8	125	140	265	8.1	▲ 50
〈道外合計〉	201	189	390	12.4	255	286	541	16.5	▲ 151
合計(道内+道外)	1,617	1,528	3,145	100.0	1,646	1,637	3,283	100.0	▲ 138

※東京圏:東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県のみ。

※住民基本台帳人口移動報告(総務省統計局)。

※日本人の国内移動分。1月1日から12月31日。

※2017年の転入出人口10人未満の自治体には、音更町住民基本台帳からデータを収集したため、外国人の移動が含まれており、表3-5「音更町の年齢階級別・地域別の転入・転出状況」の集計値と若干の誤差がある。

表3-5 音更町の年齢階級別・地域別の転入・転出状況(2016年と2017年の合計)

2016・2017年	帯広市	札幌市	その他道内	東京圏	その他道外	計 (A)	年齢区分別 人口 (B)	人口移動率 (C)=(A)/(B)
0～9歳【転入】	129	46	125	20	17	337	8,070	4.2%
0～9歳<転出>	79	57	128	13	23	300		3.7%
10～19歳【転入】	49	12	120	6	10	197	9,747	2.0%
10～19歳<転出>	84	75	118	43	41	361		3.7%
20～29歳【転入】	363	108	389	45	73	978	7,374	13.3%
20～29歳<転出>	314	238	373	149	85	1,159		15.7%
30～39歳【転入】	205	97	258	48	49	657	10,410	6.3%
30～39歳<転出>	223	95	210	42	40	610		5.9%
40～49歳【転入】	119	28	183	34	30	394	13,471	2.9%
40～49歳<転出>	119	58	177	12	39	405		3.0%
50～59歳【転入】	58	36	112	8	16	230	11,331	2.0%
50～59歳<転出>	77	23	74	10	20	204		1.8%
60歳以上【転入】	115	26	167	14	20	342	29,783	1.1%
60歳以上<転出>	90	43	81	7	17	238		0.8%
合計【転入】	1,038	353	1,354	175	215	3,135	90,186	3.5%
合計<転出>	986	589	1,161	276	265	3,277		3.6%

※東京圏：東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県のみ。

※住民基本台帳人口移動報告(総務省統計局)

※日本人の国内移動分。1月1日から12月31日。

※十勝管内の町村は年齢階級別の移動が把握できないことから、その他道内に含む。

※年齢区分別人口(B)は、2016年3月末と2017年3月末人口の合計。

図3-6 音更町の年齢階級別・地域別の転入・転出状況(2016年と2017年の合計)

